

令和5年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書 (前期 ・ 年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成

B 本年度の重点

もう一歩前へ チャレンジ！ 共感・協働・実践
 ～ たけのこの里で ぐんぐん伸びる たけのこ子 T・T・S(つながり 確かめ シンカする)で確かな学力を ～

○夢を育てるふるさとキャリア教育の推進	○夢の実現に向かう確かな学力の向上
○夢を支える豊かな心の育成	○夢を支えるたくましい体の育成

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、もう一歩前へ踏み出し、積極的に学習や活動を行う学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく
 - ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
- まじめにせいいっぱい
 - ・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人を尊重し、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、子どもを育てる教師
- ・授業力向上と研修に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の育成	4 たくましい体の育成
・地域の「ひと・こと・もの」を活用した多様な体験活動の推進 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ和紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・地域の特色や伝統文化等を学ぶ探究活動の展開	・学習習慣と基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)、「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実 ・自分の考えを根拠をもとに話せる児童 ・UDの視点を取り入れた個に応じた指導	・元気の挨拶と返事や整理整頓、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着 ・議論することを通して道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心や豊かな心を育む特別活動、読書活動の推進	・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさを味わい、基本的な知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい生活習慣を確立する食育、保健教育の推進

学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤

かいなを組み、OJTを通して学び合い、同僚性を高める「チームやませ」

学校間・家庭・地域との連携

- PTA活動 ○地域学校協働活動 ◎学校運営協議会 ○田代中学校区小・中連携研究会
 ○たしる保育園との連携 ○田代地域学校協働支援チーム ○福祉教育推進事業

ふるさとに学ぶ



【ふるさとを歩こうデー】

もう一歩前へ チャレンジ
共感・協働・実践



【大館北秋田校長会 授業参観】

令和5年度学校評価一覧(前期)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てるふるさとキャリア教育の充実	もう一歩前へ チャレンジ! 共感・協働・実践 ～たけのこの里でぐんぐん伸びる たけのっ子 T・T・S で確かな学力を～ つながり たしかめ シンカする	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(60%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上		
	◇夢を支える豊かな心の育成		
	◇夢を支えるたくましい体の育成		

大館市立山瀬小学校 人間力の基礎力・キャリア教育(未来・大館市民実践力の育成)	評価項目		自己評価A	運営協議会評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもった挨拶と落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごとの「挨拶運動」、小中連携「挨拶運動」、挨拶名人の選出 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の実施	3
II 思いやりの心 たくましい心	自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	良好	良好	3 思いやりの心の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) ・「たけのこプロジェクト」(農園活動、和紙づくり用たけのこの皮集め、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4	
					(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・授業での振り返りの実施・互いを認め合う学級づくり・掃りの会での「今日の○○さん」の紹介・児童会いじめ0運動	4	
					(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学団)交流、運動会遊競技、体カテスト、水泳授業	4	
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	4 健康と体力の向上	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読日本一周)・必読図書の選定・屋読書の工夫(図書室の活用等)・読み聞かせ活動の充実	3	
					(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた昼休みの体力づくり(マラソントイム) ・新体力テストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	5 確かな学力の育成	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送)・歯磨き教室・健康花丸チェック、メディアコントロール・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の実施	3	
					(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会)	3	
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等)・個に応じた指導の工夫(TT)・聞き方、話し方の強調月間の設定	4	
V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのっ子タイム)の設定と充実	3	
					(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校・集団下校指導・交通安全教室・避難訓練(地震)の実施 ・生徒指導部だより「すこやか通信」の発行・地区児童会(危険箇所の確認等)	4	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・引き渡しカードの更新・危険箇所確認及び看板設置・街頭指導・緊急メール配信	4	
					(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便り(学校報、学年通信、保健便り、給食便り等)の発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	
					(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園活動、田植え、舞茸栽培、たけのこの皮集め・選別作業、藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、クラブ活動、校外学習、ブルタブ・アルミ缶回収等)	4	

ア
児童の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	おおむね良好	子どもたちの挨拶は学校ではよいが、地域ではあまりよくない、元気がないという声が聞かれる。集団登校では、低学年が高学年を見て鍛えられるいい機会なので、両端を歩く5、6年生が班員が元気で挨拶できるように声をかけたい。下を見ないで、人の顔、地域を見て歩してほしい。たけのこ紙選別作業を見学したが、地道に作業を行ってとていいことをやっている。
	年度	おおむね良好	

善要学策と校学評価の改概

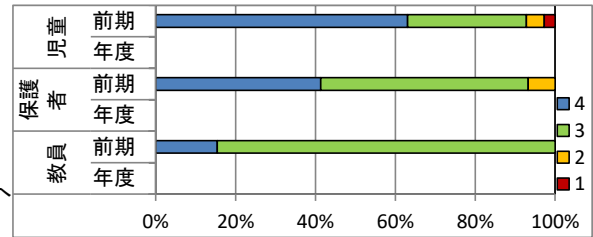
【前期(一年度)】 ○挨拶や落ち着いた校内生活について、児童アンケートではよい状況である。挨拶は、今よりさらに積極的に大きな声で、お客さんや校外でもできるように呼び掛けていきたい。落ち着いた生活では、特に安全な廊下歩行について、運営委員会が集会や昼休みに呼び掛けており、今後も継続させたい。また、教室でも学習規律の定着を図ってきたい。○行事や活動には、一人一人の児童がめあてをもって臨み、事後は振り返りを行って次につなげるようにしている。今後もこのサイクルで、児童の夢や目標に向かう力を育てていきたい。

【年度(一次年度)】

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携の各「挨拶運動」、挨拶名人の選出 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の実施	3	
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つながり強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項
[1]に関するデータ ■□「子どもたちは、元気な挨拶ができる。」 ◎「あなたは、元気な挨拶ができましたか。」

- ★ 児童会による挨拶運動の実施
 - ・児童会と学年ごとの挨拶運動 5月、9月
 - ・児童会による学年二人ずつの挨拶名人の紹介
 - 「全校集会」での運営委員会による「爽やかな挨拶」の呼び掛け
- ★ 田代地区小中連携挨拶運動 6月
 - 中学生と一緒にの挨拶運動
 - (次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)
- ★ 運営委員会による廊下歩行運動→安全で落ち着いた校内生活へ
- ★ 職員全体で児童への挨拶、廊下歩行等の言葉掛け



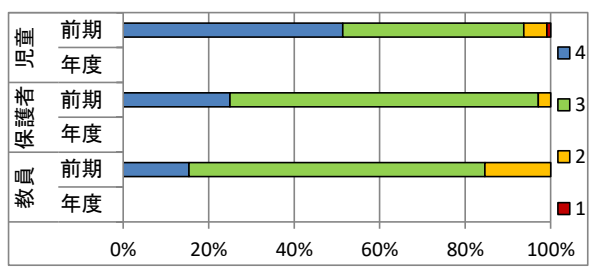
※田代中学生との合同挨拶運動



※すこやか集会で、廊下の正しい歩き方を呼び掛ける運営委員会



■ □ 子どもたちは、ルールを守り落ち着いた生活をしている。
◎ あなたは学校でルールや約束を守り、落ち着いて過ごしましたか。

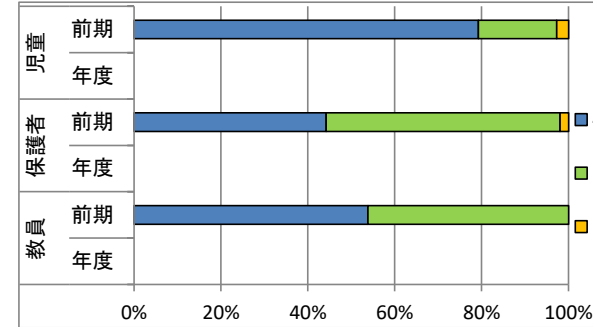


- [2]に関するデータ
- ★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
 - 職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
 - 行事や委員会・係などに関連させた取組
 - ・毎月の月目標設定(学団ごと)
 - ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:係活動、運動会、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー
 - 「たけのこプロジェクト」の推進
 - ・和紙作りにたけのこの皮集め、皮の選別作業、農園活動、ふるさとを歩こうデー等、地域の教育力を活用した体験活動



※職員室前廊下に掲示している全校児童の夢カード

■ □ 「つながり強めて、夢や目標に向かって努力する機会が充実し、目標に向かう力を育む取組がなされている。」
◎ 「あなたは、夢や目標をもって、友達と力を合わせて毎日の生活をがんばることができましたか。」



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心して学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	良好	良好	ヒアリングをした先生、子どもたちはからは、思いやりがある、リーダーシップを発揮している人が多い、友達を大事にしたい、などの話を聞き、つながりを強めて、思いやりの心が育っていると感じた。読書活動については、本屋さんも少なくなり、映像コンテンツ等が多すぎて活字を読む文化が少なくなってきた中で、少しでも本を読むとする毎日の読書活動は継続してほしい。
	年度			
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】〇いじめアンケートで訴えがあった場合、すぐ聞き取りを行い、事実関係を把握しそのいじめが継続しないよう努めてきた。道徳の授業を大事にしながら、思いやりの心が育つ学級経営を今後も推進していく。〇児童は係や縦割り班活動等で、友達と協力している姿が多く見られ、また児童アンケートからも分かる。コロナ禍も落ち着いたため、異学年(学団)交流も多く実施できるようになってきたので、関わり合いの場をつくりながら、思いやりの心を育てていきたい。〇読書については、屋読書や図書委員と田代ドリームライブラリーの皆さんによる読み聞かせを行い、本に親しむ取組をしている。児童アンケートではよい傾向にあるので、家庭でも時間を作って読書できるよう、「うち読」を継続していきたい。			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B
3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実		・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	前期 4 年度
	(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進		・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流、運動会遊競技、体力テスト、水泳授業	前期 4 年度
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実		・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書の選定・屋読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	前期 3 年度

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[3に関するデータ]

★児童観察と教育相談

- いじめアンケート後の個人面談
- 長期休業中の全保護者との個人面談

★児童を語る会・特別支援委員会

- 児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携

★道徳科の充実

- 物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置

★互いに認め合う学級づくり

- 授業での「振り返り」の発表後の認め合い
- 善行を認め合う、帰りの会での「今日の〇〇さん」の紹介

★児童会いじめ0運動

- いじめ、いじわるをしない標語の募集

[4に関するデータ]

■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している。」

◎ 「あなたは友達と協力しながら係・委員会・当番活動や縦割り班活動に取り組むことができましたか。」

★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例

- 〇花丸ニュース 〇縦割り清掃活動
- 〇ペットボトルキャップ、プルタブの回収
- 〇ふるさとを歩こうデー 〇大館市子どもサミットへの参加
- 〇異学年(学団)交流・運動会遊競技・体力テスト・水泳授業

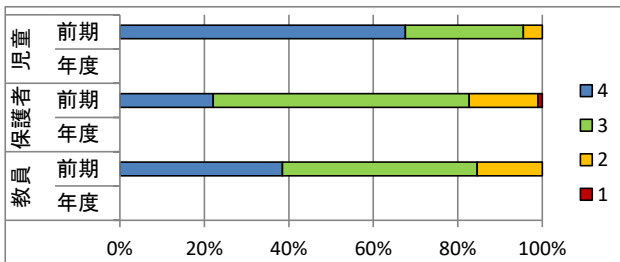
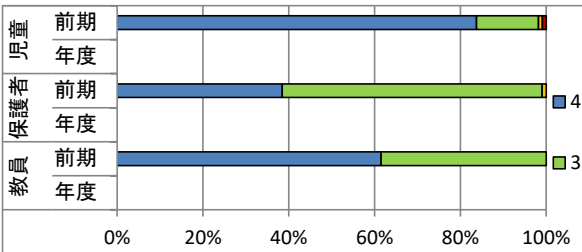
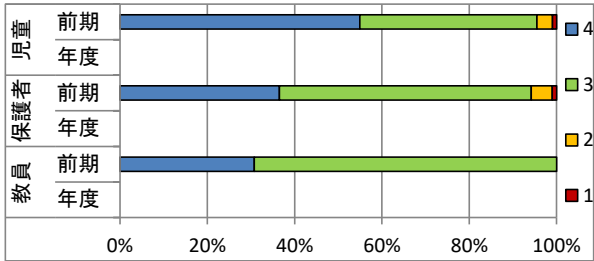
[5に関するデータ]

★読書の奨励

- ・家庭と連携した読書活動の充実(うち読日本一周)・必読書の選定・屋読書の工夫(図書室の活用等)
- ・読み聞かせ活動の充実(図書委員会・たしるドリームライブラリー)

※図書委員による「読み聞かせ」の実施(6月)

■ □ 「子どもたちは、本に親しんでいる。」 ◎ 「あなたは、進んで読書をすることができましたか。」



ア 児童の状況

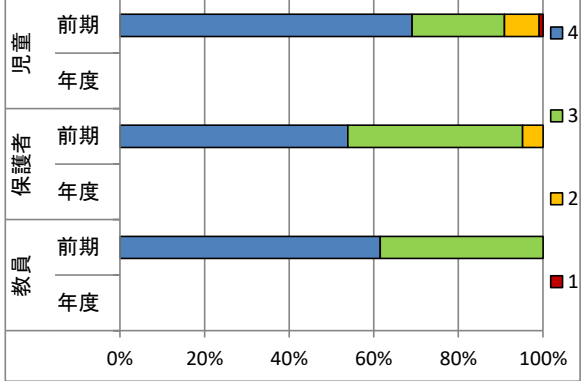
Ⅲ 健康と体力				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	歩こうデーは、子どもたちは楽しみにしている行事で、体力的に大変なところを頑張るといったとてもいい経験ができる。子どもたちに、越山・山田地域で歩こうデーの宣伝活動をしてほしい。にぎやかさと子どもの笑顔がある場面をもっと多くの人に見てほしい。体力テストは高学年が高まっておりよい傾向である。メディアコントロールは、家庭でやらせるのが前提だが、学校で意識付けをお願いしたい。
	年度			
と学校 学校評 の価 改の 善概 策要	【前期(一年度)】○運動会やふるさとを歩こうデーに向けて、マラソントイムを設定した。運動会では、実施方法を工夫しながら持久走を行い、子どもたちは保護者や色別の応援を受けながら走ることができた。また大館市の「チャレンジデー」にも参加し、マラソンや長縄跳びに取り組んだ。○低学年と高学年に分けて学校歯科医の山尾先生から、歯磨き教室を実施し、歯の健康について学ぶことができた。給食に関して食事時間を20分は設定を、という指摘があり、現在も20分設定だが準備が遅れることもあるため、2学期から給食時間を5分延長した日課を行っている。児童が健康になる望ましい生活習慣形成を目指して、保健委員会による「健康花丸チェック」等、メディアコントロール力を高める取組を継続していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた基体みのマラソントイム ・新体力テストに向けた取組と実施	4	
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動・歯磨き教室・手洗いの励行・健康花丸チェック	3	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [6]に関するデータ ■「体力づくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている」 □「子どもたちは、外遊びやスポーツに親しみ、体力づくりに努めている」
 ★ 体力づくりの取組 ◎「あなたは、体育の時間や休み時間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」

- マラソン運動～運動会練習時の業間や昼休みに実施
- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体力テストに向けた体力向上を図る体育学習
- ・体育委員会による学年対抗遊びドッジボール大会の実施

※チャレンジデー(5/31)での全校マラソン



- ★ 新体力テスト
- 実施日 ・5月中旬～6月上旬
- 実施種目
- ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
- 実施結果の配付(個人票) 1学期

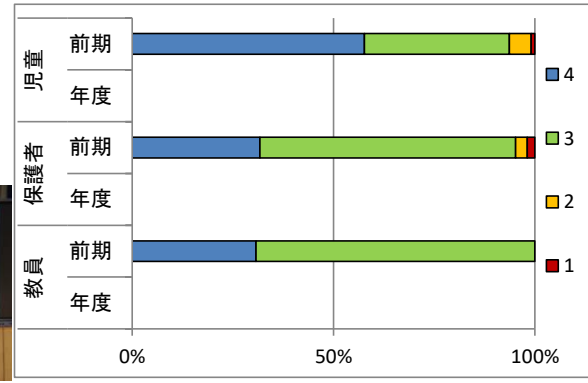
＜昨年度の体力テストの結果＞

R4新体力テスト	学年	現小2	現小3	現小4	現小5	現小6
県平均を100としたときの指数	体力得点 男	99.4	89.1	105.8	118.0	108.8
	体力得点 女	109.6	96.8	103.0	109.6	105.1

※4年度の体力テストの結果からは、おおむね良好であり、特に高学年が県平均を上回っている。今年度も体力の向上を図る取組を継続していく。

- [7]に関するデータ
- ★ 栄養教諭による食に関する啓発活動(給食だより・屋の放送) 給食指導のめあての設定と掲示(食育掲示板)
 - ★ 養護教諭・学校医による歯磨き教室の実施、長期休業中のカード配付等、保護者と連携しながら指導を進めている。
 - ★ 保健委員会による「健康花丸チェック」、メディアコントロールの呼び掛け、望ましい生活習慣を形成へ

栄養教諭による食育掲示と学校医による歯磨き教室



ア 児童の状況

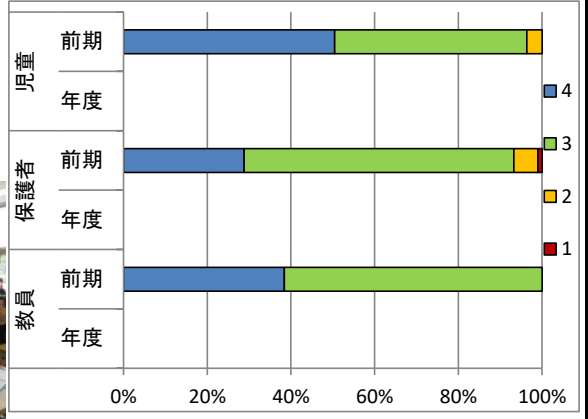
IV 基礎学力

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	発表している人を見て聞く、先生の言葉に対して返事をするといったことがきちんとやられ、低学年から学年が上がる流れの中で身に付いていったものと思うので継続してほしい。ノートの書き方も毎日の積み重ねがあることが分かった。学力テストの結果から県の平均よりも高いのは驚いた。声のものとさしについて、学級での発表や友達同士の話し合いの声、挨拶の声等、聞こえる声で話ができる子どもに育ててほしい。学習リーダーが活躍する授業も期待したい。
	年度			
と学校校評の価改の善概要	【前期(一年度)】〇月別の重点目標を各学級で確実に取り組み、学習規律が身に付いてきている。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化や自学ノート展や自学見合う会等で、より学力が身に付く自学の仕方を学んでいる。〇朝学習や意図的な繰り返し指導等で、基礎・基本的な学力の向上を図っている。4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、不足の力を育てていきたい。〇共感的・協動的に学び合う学習を目指して、「やませっ子学びのスタイル」を推進している。今後は、学習リーダーの育成をしながら、より主体的に子どもたちが学んでいく授業を目指していきたい。			
	【年度(一学年度)】			

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化	3	
	(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫・聞き方、話し方の強調月間の設定	4	
	(10) 共感的・協動的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのつ子タイム)の設定と充実	3	

【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [8に関するデータ] ■ □ 「子どもたちに基本的な学習習慣が身に付いている。」
 ◎ 「あなたは、授業中、学習の約束をしっかり守って勉強し、家庭学習も毎日続けましたか。」

- ★学習指導部・研究部による計画的な取組
- 〇「学習の約束」の徹底
- ・月別重点目標による学習訓練の徹底(4月:基本的な学習態度を身に付けよう 5月:よい聞き方を身に付けよう 等)
- 〇家庭学習の習慣化
- ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の配付
 - ・自学紹介コーナーの設置とノート展の実施
 - ・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定
- 〇学習環境の整備
- ・「話し方・聞き方名人」
 - ・「やませっ子学びのスタイル」
 - ・「声のものさし」



[9に関するデータ]

- ★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況
- 〇ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用
- ・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート
 - ・ミニテスト等
- 〇各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施
- 〇個に応じた指導の工夫(算数TT)
- 〇話し方、聞き方の強調月間の設定(5・6月)

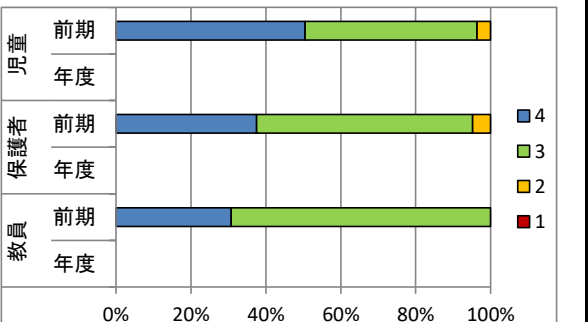
	国語	算数	結果から見た状況
山瀬小	73	66	全国、秋田県の平均を上回り、よい状況にある。
秋田県	72	65	
全国	67,2	62,5	

[10に関するデータ]

- ★「共感的・協動的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組
- 〇つながる場(たけのつ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)



- □ 共感的・協動的に学び合う学習指導が充実している。」
 ◎ 「あなたは友達の発表を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」



イ
学校運営
の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	登校で高学年女子がケガをした低学年の世話をしていた場面を見たことがあり、感心した。登校班では下を向いて歩いている子どもが多い。また、集合場所に集まって来た時のお互いの挨拶がほしい。みんなが迎え入れて、一緒に歩くだけで楽しいと感じられる集団登校であればよい。今回の熊出没時で保護者へ緊急メールをし、集団下校を行ったのはよかった。
	年度			

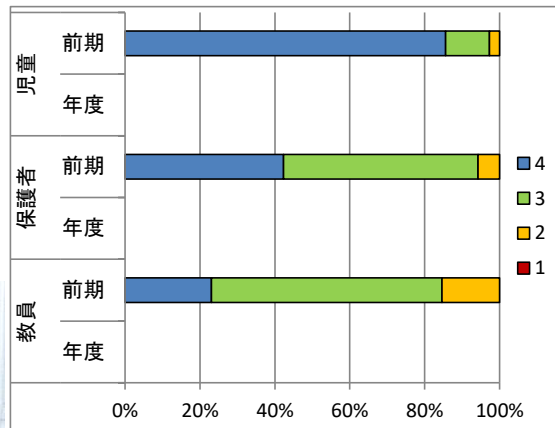
と学校校評の価改の善概要

【前期(→年度)】○集団登校においては、班長を先頭にほぼ安全に歩行している。登校の仕方で心配な声が届いたときは、生徒指導主事が現場へ行き、一緒に登校しながら改善を図っている。また、4月早々に交通安全教室を行い、特に自転車の安全な乗り方について具体的な指導を受けた。今後も交通事故が起きないように、注意を喚起していきたい。○PTA生活環境部の皆様が、5月の連休前に危険箇所への注意喚起の看板を設置し、広い学区内での事故防止を呼び掛けている。スクールガードリーダーも時々巡回して見守っているので、関係機関と連携しながら事故防止に努めていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校下校指導、避難訓練(地震)、交通安全教室等の実施 ・「すこやか通信」の発行・地区児童会	4	
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等関係機関との連携 ・引き渡しカードの更新・危険箇所看板設置・街頭指導・メール配信	4	

【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [11に関するデータ] ■ □ 「子どもたちに安全への意識が育っている。」
 【取組の具体例】★安全意識の高揚 ◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

- 通学路の歩き方と危険箇所の確認
- ・集団登校、下校指導で通学路、歩き方の確認
 - ・安全意識を高める集会での指導(定例会集・夏休み前集会)
- 交通安全教室
- ・4月19日 ・1～2年安全な歩行 ・3～6年自転車の乗り方
- 避難訓練
- ・地震想定避難訓練 5月29日～地震発生時の避難の仕方
 - ・保護者へ「児童引き渡しカード」の更新
- 生徒指導部だより「すこやか通信」の発行
- ・集団登校の確認、自転車の乗り方
 - ・GWの過ごし方
 - ・夏休みの暮らし方
 - ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組
- 地区児童会
- ・危険箇所の確認等



※交通安全教室 標識の説明をする交通安全協会の皆様

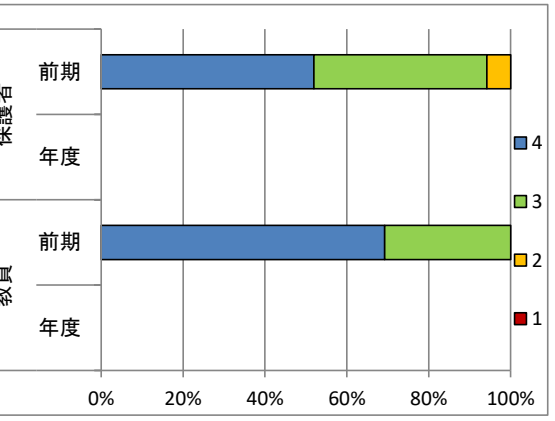
[12に関するデータ]

★PTAやスクールガードリーダー等の連携 ■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの安全指導
- ・生徒指導主事による集団登校現場指導
- ・市教育相談センターとの情報交換会
- ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置
- ・子ども110番の家の確認
- ・市教育委員会へ通学路に関する要望の提出
- ・安全に関する緊急メール配信



※PTA生活環境部による危険箇所への看板設置



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	保護者からのヒアリングでは、紙ベースのおたより、やませっ子(学校報)があることで常に目にふれている、有り難いという話があった。頻繁に出るメールにも助けられている。おたより、メール等は丁寧でよいが、箇条書き等、内容をシンプルにした方が分かりやすいという声もあった。地域との連携では今年、クラブ活動に代野番楽も行っていて頑張っている。
	年度			
学校の評価改善の概要と	【前期(→年度)】○学校からの情報発信では、先生方の働き方改革の一つとして、学年だよりを隔週発行し、代わりに月の主な行事と下校予定時刻の一覧表を配付している。学校だよりでは、引き続き学校、子どもの様子等をお知らせしている。HPについてはなるべく早く更新していきたい。また、天候に左右される行事の実施や緊急時には、メール配信を行ってきた。今後できるだけ早めの情報提供を心がけていきたい。○クラブ活動では、伝統芸能に触れる機会として、新しく番楽(代野)クラブを設けた。今年度も子どもたちが一層ふるさとへの愛着心を醸成できるよう、地域の協力を得ながらふるさとキャリア教育を推進していきたい。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便りの発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	
	(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	

【13に関するデータ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】

★学校からの情報発信、情報交換等

○学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPでも紹介

- ・毎月発行(学校の出来事、来月行事のお知らせ)
- ・行政協力員との連携による学区内配付

○学年だよりの配付

- ・隔週発行(学年の出来事や予定)

○月の主な行事と下校予定時刻表の配付

○保健だより・給食だよりの配付

○行事や緊急連絡等のメール配信

○学校教育アンケートの実施

○PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有

○教育相談等による情報交換

- ・年3回の教育相談週間
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
- ・学担による個人面談
- ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、小・中・保)

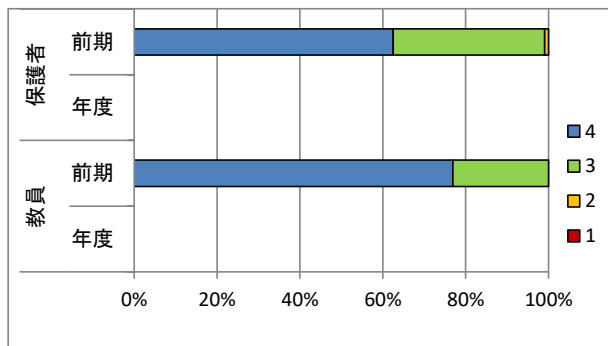
【14に関するデータ】

★「ひと・こと・もの」を生かした体験活動の充実

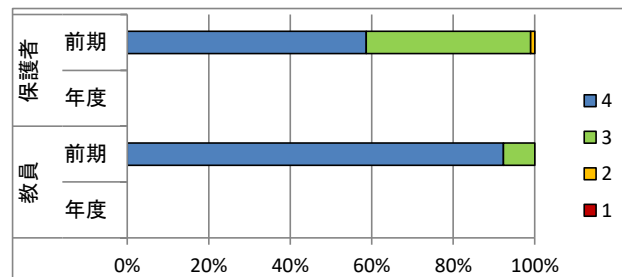
○ふるさとキャリア教育の推進

- ・クラブ活動における地元講師の活用(六つのクラブ)
- ・学校運営協議会、田代地域学校協働支援チームでの情報交換、支援の依頼
- ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援
- 農園活動(耕起とマルチ張り、1・2年さつまいも、3・4年ポップコーン、5年田植え、6年舞茸)、たけのこ和紙作り
- 用いたけのこの皮集め、皮の選別作業、1・2年藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、ブルタブ・アルミ缶回収等
- ・地元の方からの地域学習への協力
越山小学校、山瀬ダムの説明

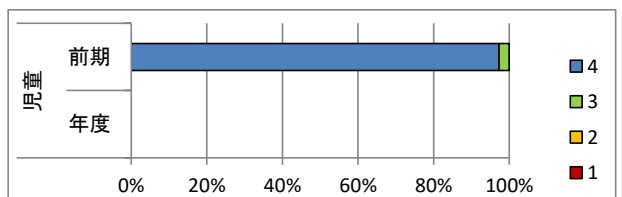
■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」



■ □ 「地域の『ひと・こと・もの』を活用した豊かな教育活動が行われている。」



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてくれたり、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」



※番楽クラブで踊りを教える田代中3年久留嶋奎佑さん

